



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

UACJ財務状況概要

～財務基盤強化・資本効率向上～

取締役 副社長執行役員

川島 輝夫

2023年6月7日

株式会社UACJ



当社の財務面からの課題・目標 ～第3次中期経営計画とその先へ～

(第3次中期経営計画)

財務基盤 強化の実現

- ・ 確実なCash創出の実現と資源配分
- ・ 自己資本の積み上げ（企業価値向上の基盤強化）
- ・ 第3次中期経営計画3年間のCF創出

事業管理の強化

- ・ 資本効率を事業管理・企業運営の管理指標として浸透させ、資本効率を向上させる
- ・ 当社経営指標：ROE、ROIC、D/Eレシオ

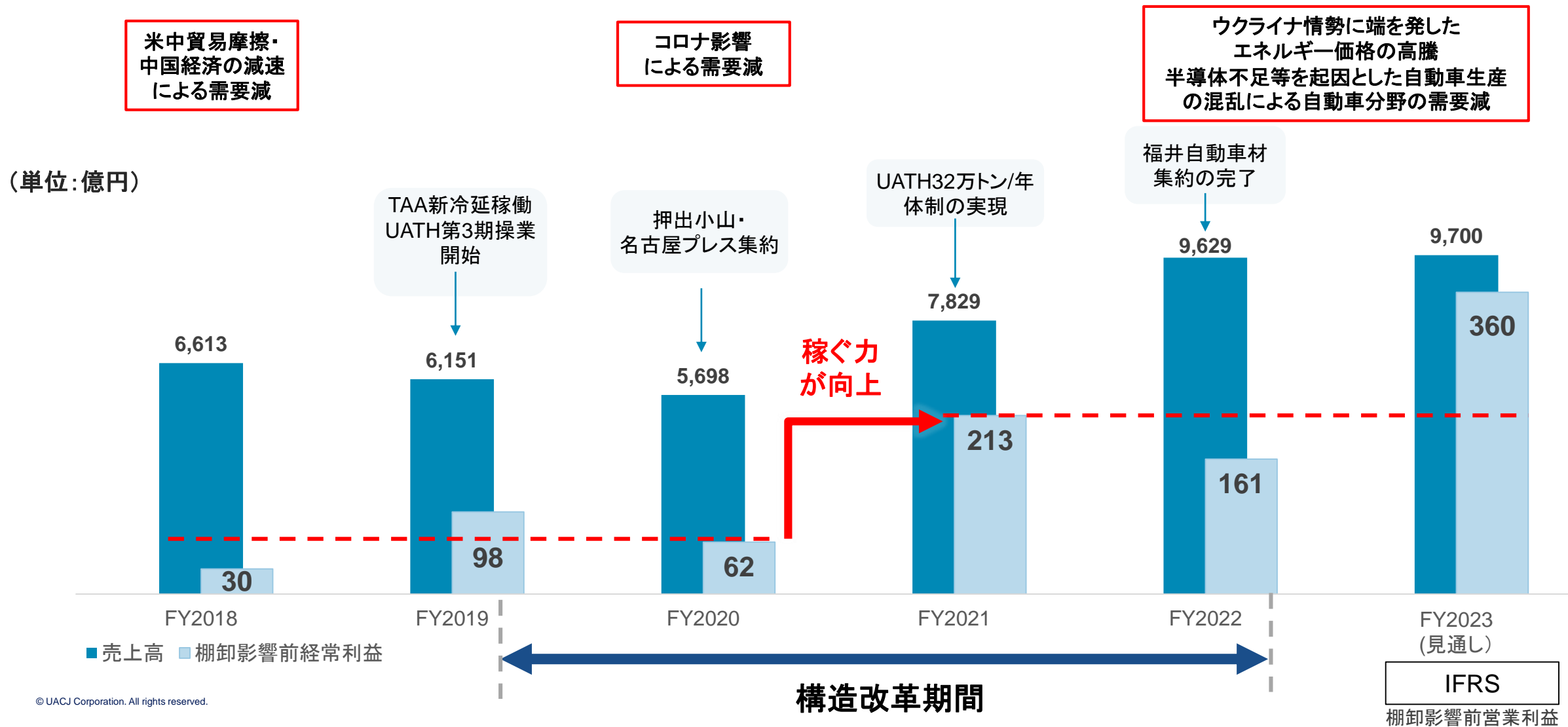
株主還元

- ・ 企業価値の創造
- ・ 連結配当性向、総株主還元
- ・ 資本コストの引下げ

(その先へ)

資本コストを上回る収益性の恒常的な創出
企業価値の向上、PBR1倍以上への取り組み

経営環境認識



2021年度+2022年度 CF・財務状況

2021年+2022年度 連結キャッシュフロー

(単位: 億円)

	FY2021+FY2022
税引前利益	573
減価償却費(のれん含む)	713
債権債務増減他	△ 682
営業キャッシュフロー計	604
設備投資 他	△480
フリーキャッシュフロー	124
ファイナンススキーム・配当他	△9
現預金増減(△は増加)	57
外貨建て借入金換算差(△は増加)	△182
有利子負債の増加	9

2021年+2022年度 資金運用表

(単位: 億円)

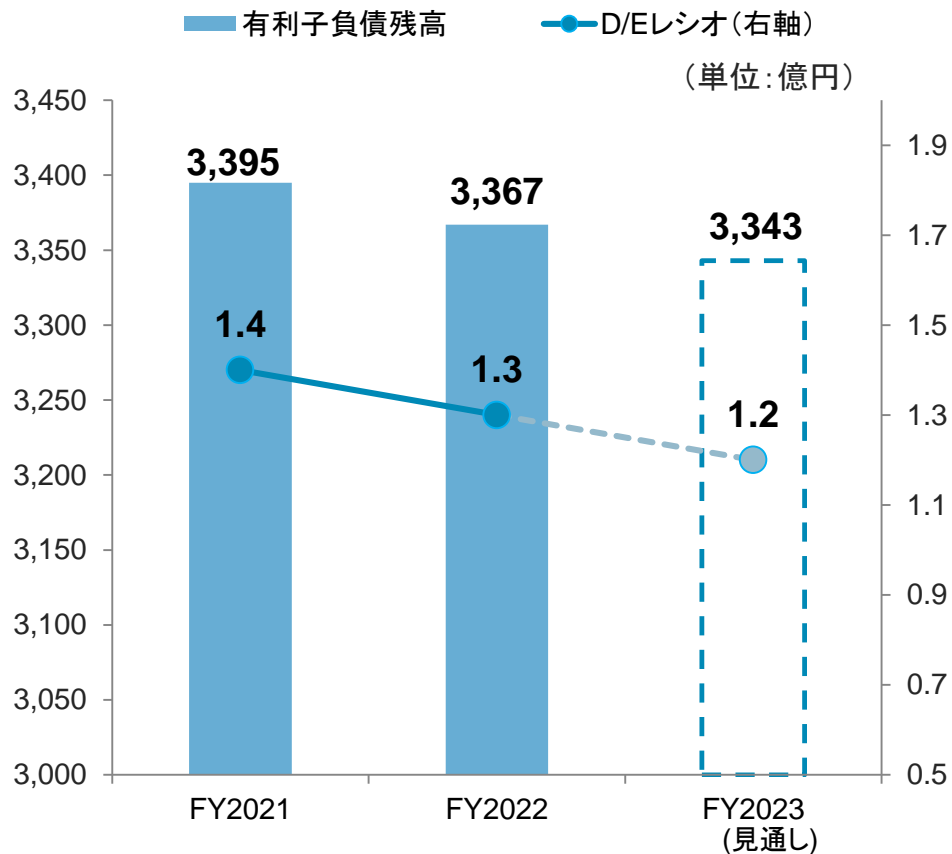
	用途	調達
長期	設備投資	479
	法人税等支払	162
	長期余剰金	644
短期	運転資金増減他	519
	短期余剰金	519

長期資金余剰	644億円
短期資金不足	519億円
FCF	125億円

長期資金: 財務基盤の強化の源泉となる長期資金の創出
 短期資金: アルミ地金価格等高騰による運転資金の増加

2021年度＋2022年度CF・財務状況

有利子負債残高・D/Eレシオ

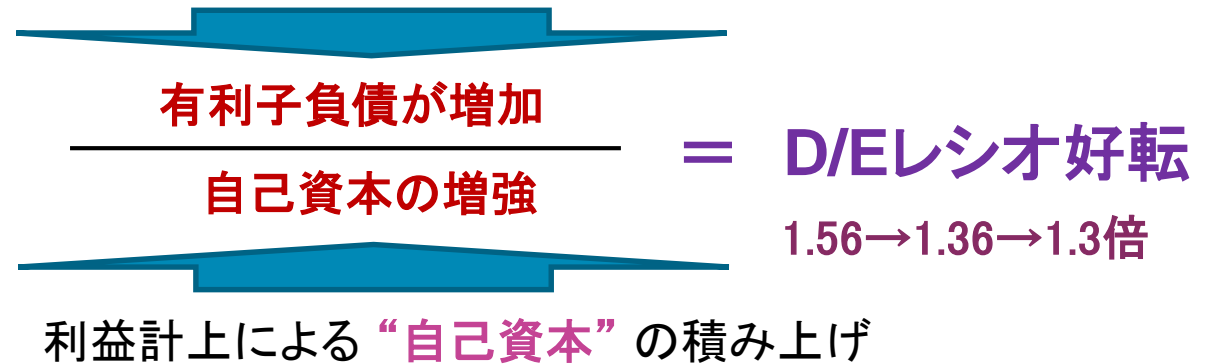


2023年度末D/Eレシオ 1.2倍へ

当面の目標D/Eレシオ 1倍へ

【D/Eレシオ】

- ・長期資金 : 財務基盤、企業価値向上の財源を創出
- ・短期資金 : 運転資金の大幅な増加



財務基盤の強化の源泉

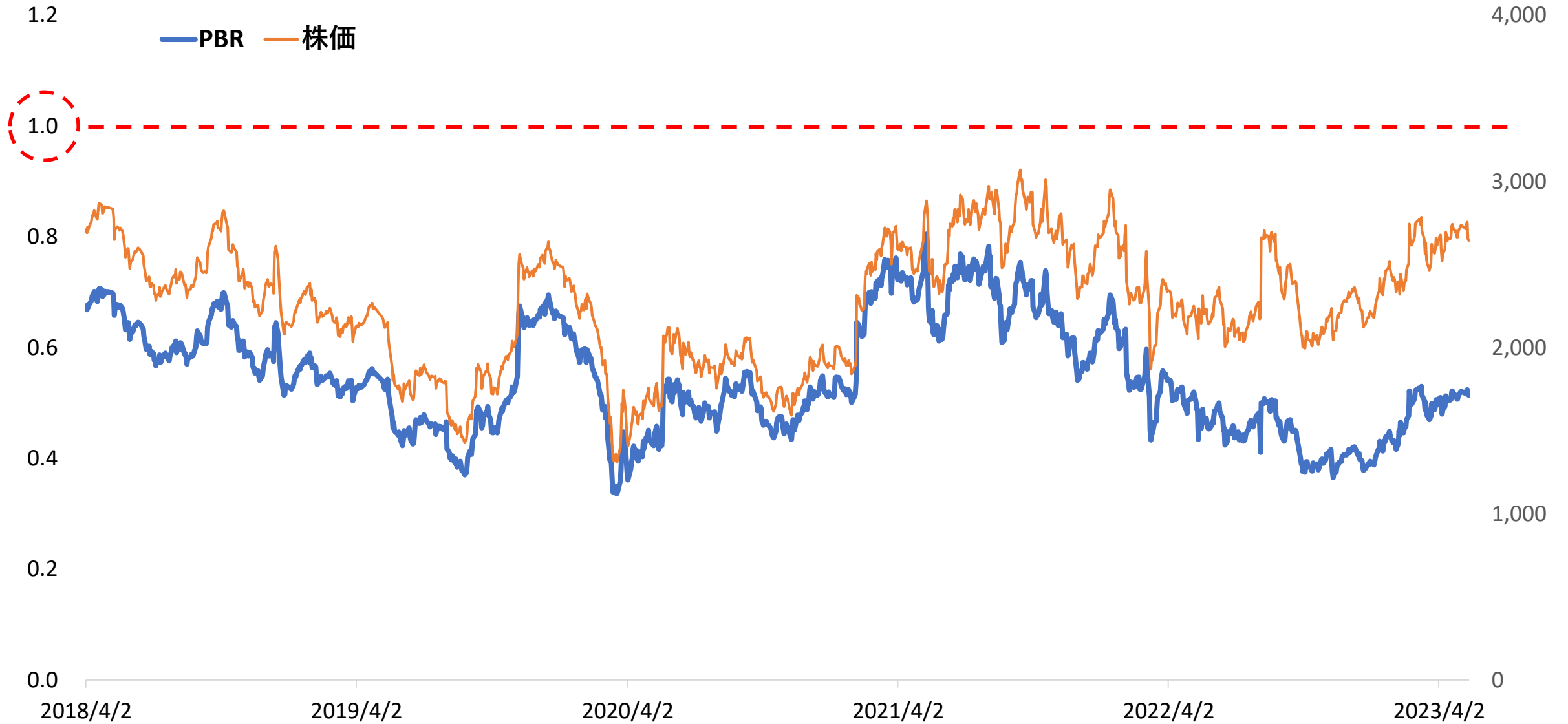
【有利子負債】

- ・財務基盤を作る“長期資金”の創出
- ・財務基盤の強化と成長戦略の実施の両立できる財務基盤
- ・資金効率の更なる向上(CCC短縮)

【自己資本】

- ・自己資本の積み上げ = 事業運営基盤の強化

PBR (倍) の推移

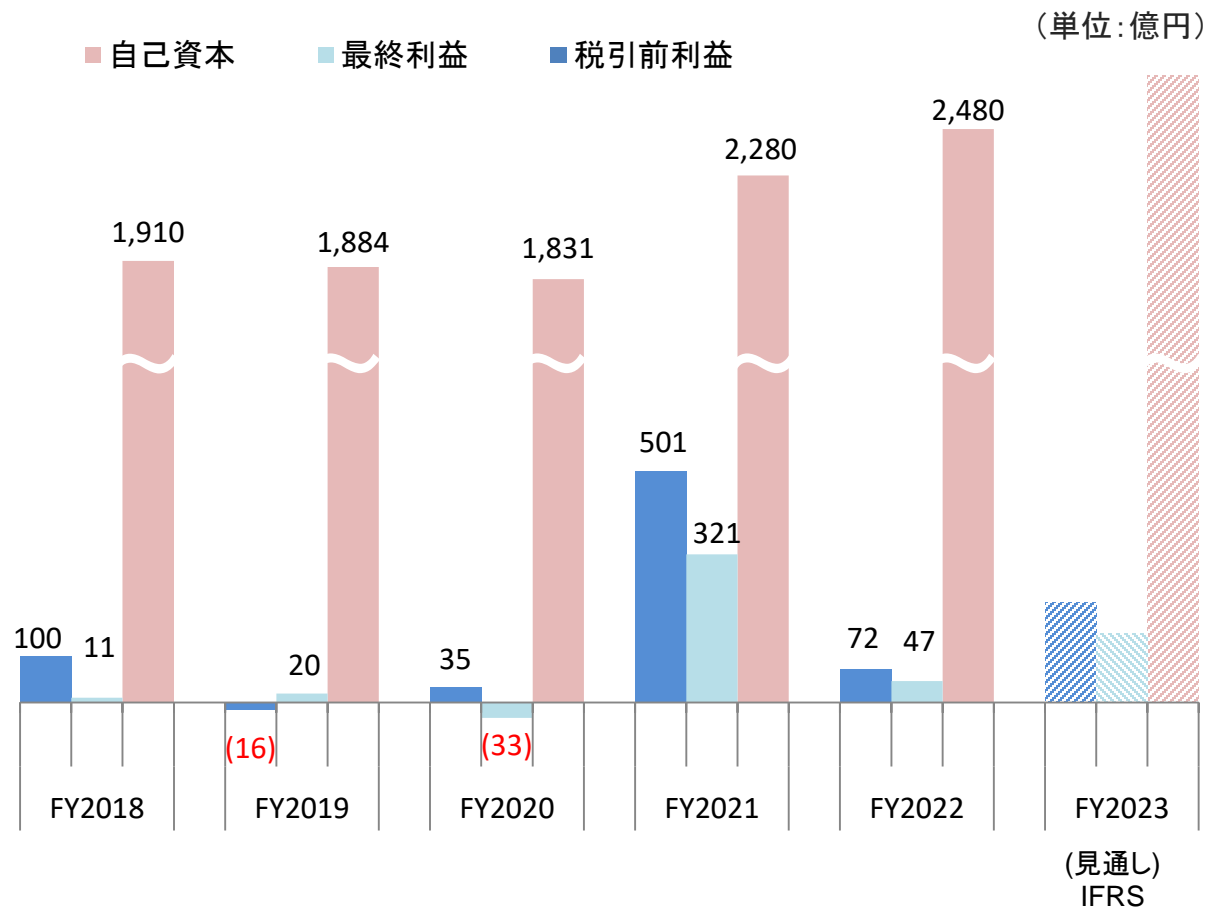


当社経営指標: ROEの推移・株主資本収益性

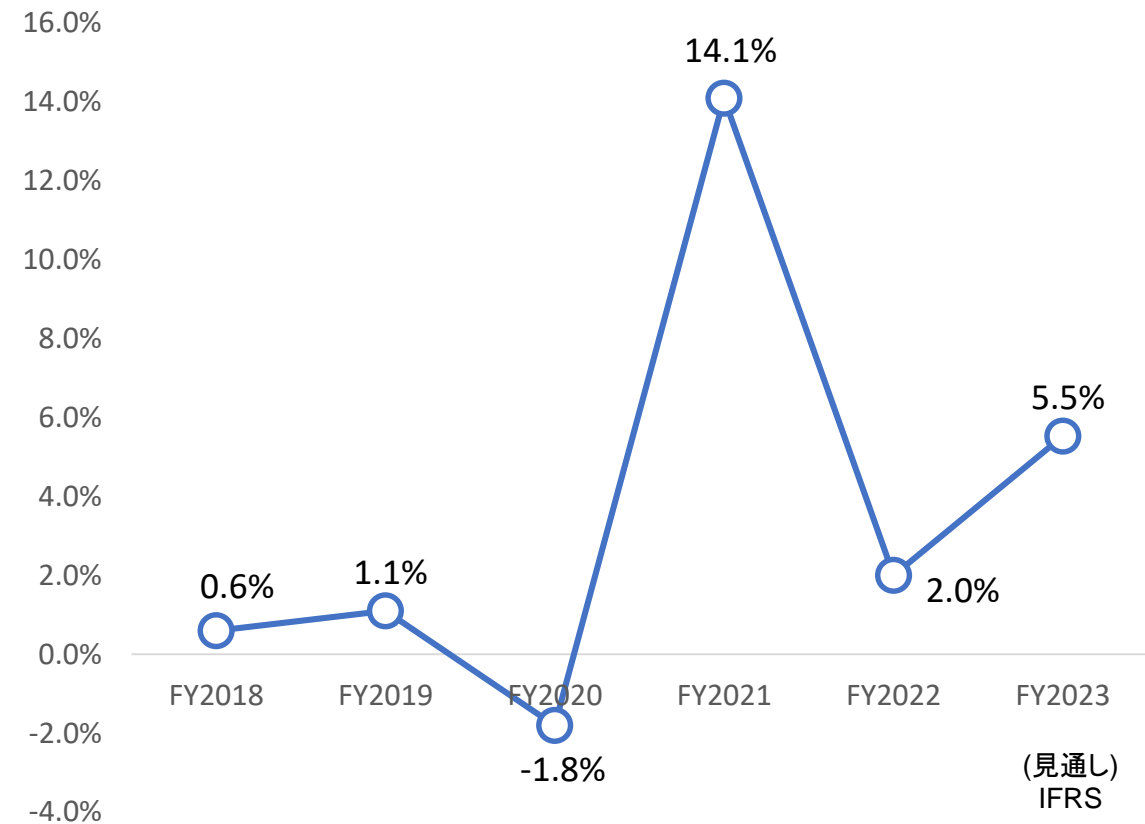
ROE 推移(%)

目標とする水準(資本コストを超える)を安定的に達成できるレベルには達していない

→ ROEが安定的に目標水準を達成できる収益性の更なる向上



ROE (%)



当社経営指標: ROIC 資本効率

ROIC 推移 (%)

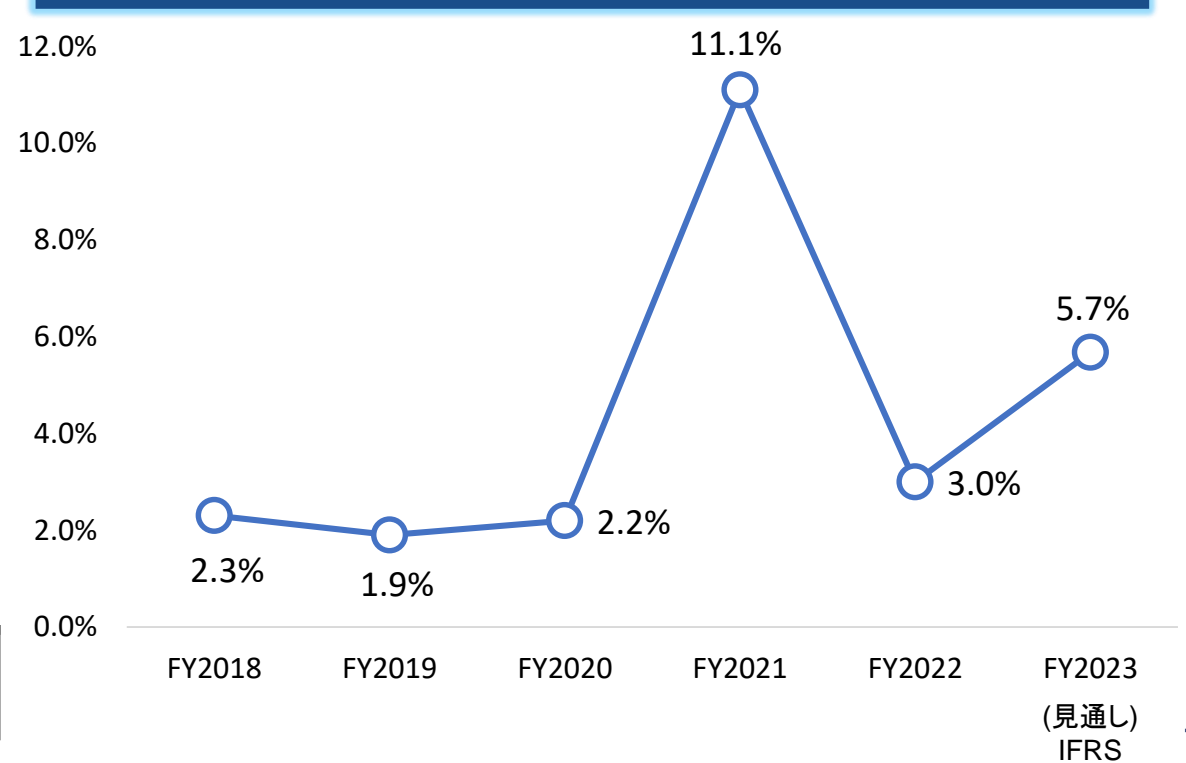
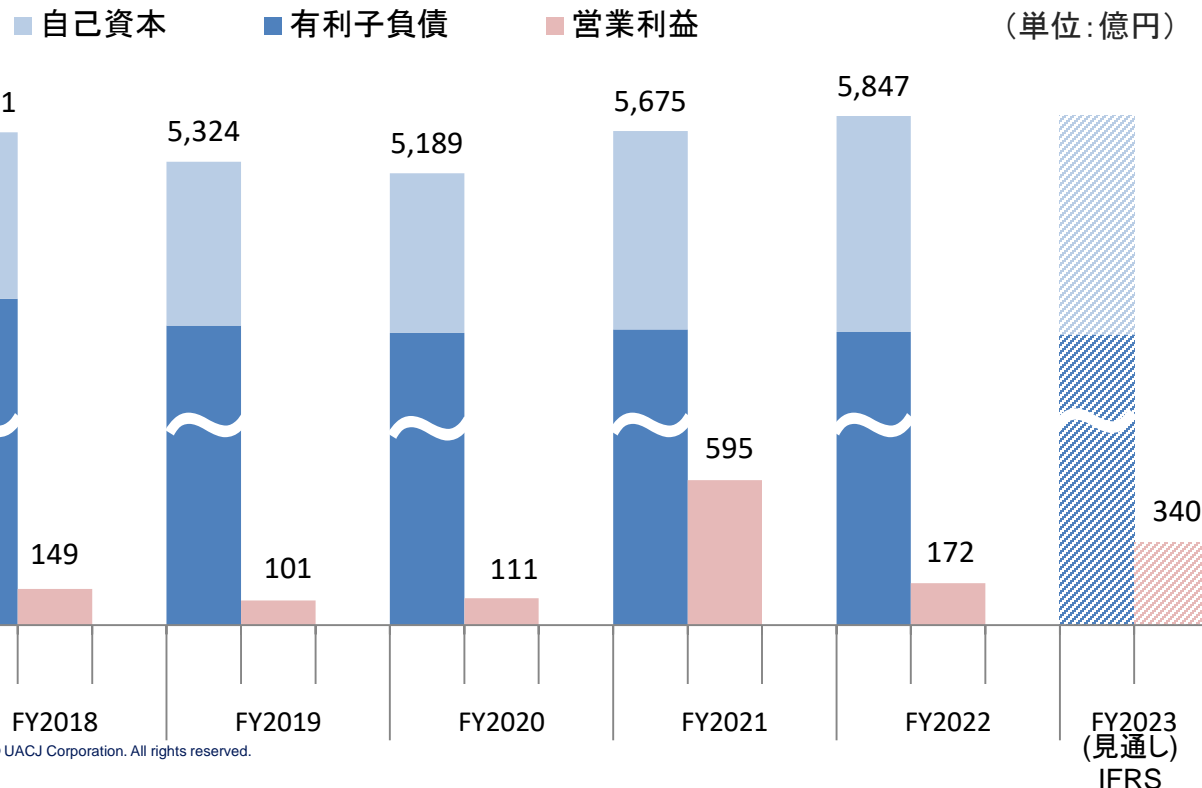
ROIC : 使用資本に対する収益性は当社の経営管理指標の1つ

・社内での運用: 各事業別の使用資本(資産)を基準に社内ハードルレートを設定、目標管理

✓ 社内目標資本効率水準 …… WACC + α

✓ 事業管理指標としての浸透、資源配分判断への適用のレベルアップが必要

ROIC (%)



当社経営指標：財務基盤 FCFの創出

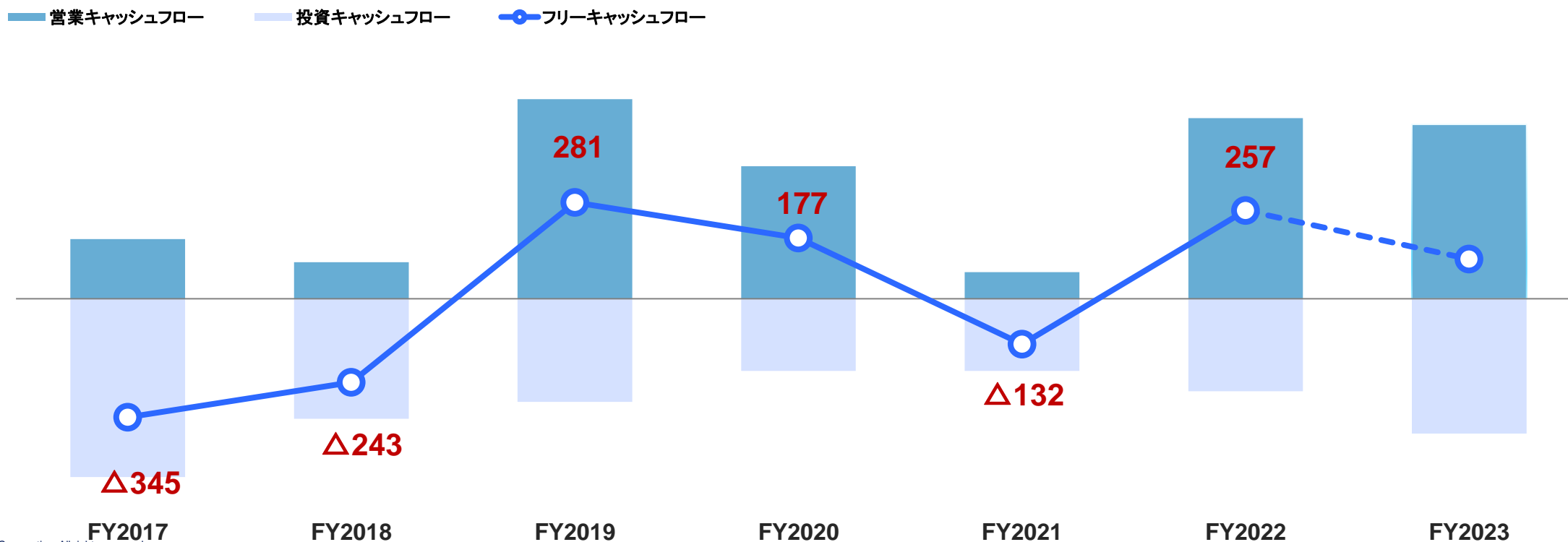
財務基盤の強化

フリーキャッシュフローの創出

長期資金： 安定的な利益計上、投資CF管理 → FCF創出力の強化

短期資金： 資源価格、事業規模の拡大等による運転資金の増加 → CCCの効率化

(単位:億円)



当社経営指標：財務基盤 D/Eレシオ

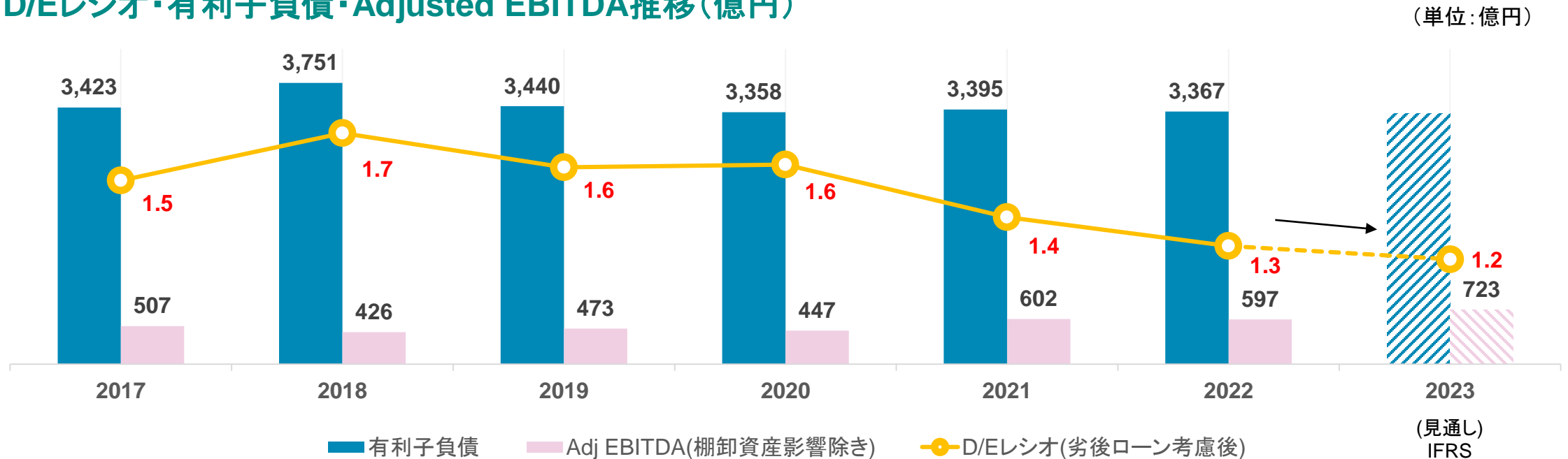
財務基盤の強化

D/Eレシオ：財務基盤を測定する当社の経営管理指標

- FCF創出、資金効率の向上により、有利子負債残高の削減
- 企業運営の財務的基盤となる自己資本の積み上げによる基盤の強化

資金調達：必要資金の調達力向上、安定した資金調達、資金調達手段の多様化

D/Eレシオ・有利子負債・Adjusted EBITDA推移(億円)



資本市場等との対話

企業価値の向上を実現

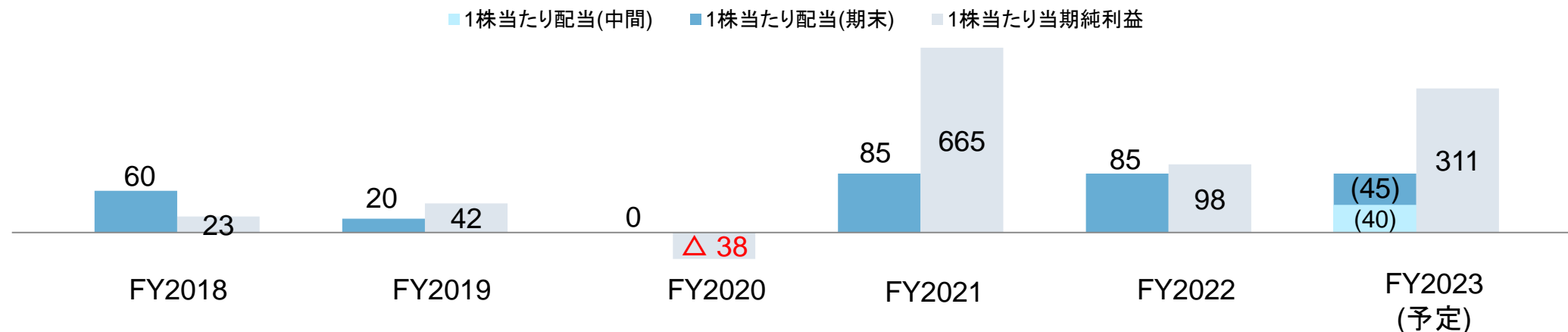
- ・当社の経営管理指標(ROE・ROIC・D/Eレシオ)を事業運営・管理の視点とし、企業価値向上を実現
- ・株式価値の向上

更なる情報開示のレベルアップ

- ・会社情報開示(財務情報+非財務情報)の拡大・深化(進化)
- ・事業環境、事業戦略の理解度を高めて頂く

当社の株主還元方針(第3次中期経営計画)

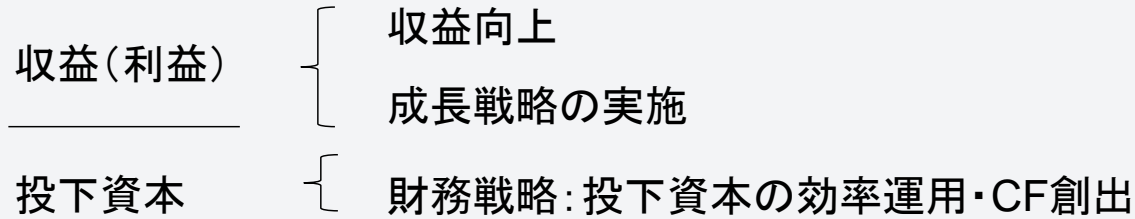
- ・還元方針 : 長期的な総還元性向30%以上を目標
- ・配当性向 : 連結配当性向 20%~30%を目途に、安定的・継続的な配当を目指す
2023年度より中間配当を予定



企業価値向上の実現に向けて

【企業価値向上のポイントの整理】

① 資本効率の向上(収益、財務基盤)



② 非財務的価値の向上、数値化

③ 総還元率の向上

~	2021年度	2022年度	2023年度	2030年度
第2次中期経営計画	第3次中期経営計画			第5次中期経営計画
収益基盤の先行投資	構造改革の完遂 VISION2030への基盤確立			VISION 2030
	< KPI > 【収益】 ・売上高 : 7,000億円 ・営業利益 : 300億円 【財務基盤】 ・D/Eレシオ : 1.2倍以下			< KPI > ※VISION2030目標数値は議論中 【収益】 ・営業利益率 : 6.0%以上 【財務基盤】 ・ROE : 10%以上 ・ROIC : 10%以上
	第4次中期経営計画 VISION2030の実現に向けた前段			
	・ 2024年度3~5月公表 に向けて議論 ・ 企業価値向上の実現			



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界